

2017年3月 マニプールコロニーワークキャンプ報告書



概要

開催場所	インドウエストベンガル州アドラ地方マニプールハンセン病コロニー
活動期間	2017/02/27-2017/03/14
参加者	日本人学生 10 人
主なプロジェクト	・ワークニーズの調査 ・村長とユースキャンパー(コロニーの若者)の関係修復
協力・支援団体	・笹川記念保健協力財団 ・Manipur Leprosy Rehabilitation Centre

活動内容

2017年春マニプールワークキャンプにおいて、協働型ワークキャンプで新たなインフラ整備を行うことよりも、日本人キャンパーのみで「マニプールで今後ワークキャンプを続ける上で取り組むべきワークニーズの有無」「村長とユースキャンパー(YC)の間の関係の修復」の2つの問題へのアプローチを考えていく必要があると考えた。また、リサーチを主軸としたワークキャンプを実施することで、今後のマニプールコロニーでのワークキャンプ活動の方向性や活動期間の判断材料を洗い出すための一助とするために実施することを決断した。

<各プロジェクト内容>

- ①「今後の活動の方向性を固めるための現状把握」
 - ②「協働型ワークキャンプを円滑に進めるための協力体制の見直し」
- 上記2点を目的にプロジェクトをリサーチ系にまとめ、計画を進めた。

リサーチ系

エンタメ系

リサーチプロジェクト	女子会プロジェクト
仲良しプロジェクト	仲良しエンタメプロジェクト
EVIDENT プロジェクト	ビッグパーティープロジェクト
	フェアウェルパーティープロジェクト

これらのプロジェクトを遂行するために、各プロジェクトメンバーを中心にキャンパー全員で計画に多大な時間をかけてきた。しかし、キャンプ中にジェネラルリーダーを含む半分以上のキャンパーが約1週間入院してしまうという事態に陥り、残りの5日間でこれら全てのプロジェクトを実施することは困難だと判断した。よって、掲げていた目的から大幅に変更して、限られた日数で実行が可能なエンタメ系プロジェクトの実施に注力することにした。

リサーチ系

エンタメ系

リサーチプロジェクト	女子会プロジェクト
仲良しプロジェクト	仲良しエンタメプロジェクト
EVIDENT プロジェクト	ビッグパーティープロジェクト
	フェアウェルパーティープロジェクト

実施できた活動内容

【仲良しエンタメプロジェクト】

ダスさんとユースキャンパーの間にあるわだかまりを解消するために、両者の立場からの考えや意見をヒアリンし、お互いの親睦を深めなければいけないと考え実施した。

<目的>

アイスブレイキングを通してユースキャンパーとより親しくなり、仲良しプロジェクトが円滑に進むような状態へ持っていく。

<結果>

日本人キャンパーが企画したゲームを通して、ユースキャンパーと非常に楽しい時間を過ごすことができた。また新キャンパーとの親睦も深めることができた。



仲良しエンタメプロジェクトの様子



プロジェクト準備の様子

【ビックパーティープロジェクト】

毎キャンプでの恒例行事となっているビックパーティーは、村人が楽しみにしてくれているコンテンツの一つである。日本人キャンパーとユースキャンパーが協力して出し物をしたり、コロニーの子供達が思い思いにダンスや詩を披露したりする場として企画を行なった。

<目的>

村の多くの人が集まるため、そこでみんなが楽しめる行事を行い、普段かかわることの少ない村の人々とも交流すること。

<成果>

プロジェクト当日は world woman day であったため、もともとコロニーによって計画されていたプログラムの中に組み込まれる形となってしまった。よって進行は村の人が担当し、日本人キャンパーはダンスと歌の合唱、村の子供たちとの合唱のみを行なった。



World woman day でスピーチをしている様子



村の子供たちと合唱をしている様子

【フェアウェルパーティープロジェクト】

このプロジェクトも毎回キャンプの終盤で行う行事となっている。ワークキャンプを通して協力してくれたユースキャンパーに感謝を伝え、ワークキャンプを振り返ることで、キャンパー全員にキャンプに参加してよかったと思ってもらえるような会を目指している。

<目的>

日本人キャンパーやユースキャンパーにとってもワークキャンプの締めくくりとして、大変だったことを含めて今回のWC がかけがえのない思い出になり、WCに参加してよかったと思ってもらえるようなものにする。

<成果>

今回のキャンプは協働型ではなく、基本的には彼らと寝食を共にすることはなかった。しかしこの会で食事を一緒にとれたことで、改めて食事を共にする、協働型キャンプの利点(楽しさや関われる深度など)を実感した。

